

令和7年3月卒業生 進路調査報告

全国 278 校の令和 7 年 3 月卒業生を対象に進路調査を実施しました。今年度の同調査回答率は 99.3%であり、卒業生数では 5,203 人(うち離職者訓練生(以下、「訓練生」)は 385 人、外国人留学生(以下、「留学生」)は 1,707 人)でした。

〈卒業生進路先別比率 最近6ヵ年の推移〉～抜粋～

毎年 3 月 31 日現在

区分	種別	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
就職決定	介護老人福祉施設	48.0%	46.0%	46.4%	45.3%	45.9%	45.2%
	介護老人保健施設	13.7%	14.4%	14.4%	12.7%	14.1%	15.2%
	医療機関	3.9%	5.5%	5.0%	5.2%	5.3%	5.9%
	その他	29.9%	30.0%	30.2%	33.1%	30.9%	30.7%
	計	95.5%	95.9%	96.0%	96.3%	96.2%	97.0%
進学者		2.0%	1.6%	1.6%	1.5%	1.8%	1.5%
未就職者		2.5%	2.5%	2.4%	2.2%	2.0%	1.5%
合計		100%	100%	100%	100%	100%	100%

○就職先の施設種別に大きな変化はありませんでした。

【 調査項目に即した数字データ 】

〈卒業生数内訳〉

	卒業生数	左のうち国家試験受験者数	左のうち国家試験合格者数	合格率
卒業生数	5,203 人	5,050 人	4,077 人	80.7%
うち離職者訓練修了者数①	385 人	384 人	378 人	98.4%
うち外国人留学生数 ②	1,707 人	1,648 人	822 人	49.9%
①、②以外	3,111 人	3,018 人	2,877 人	95.3%

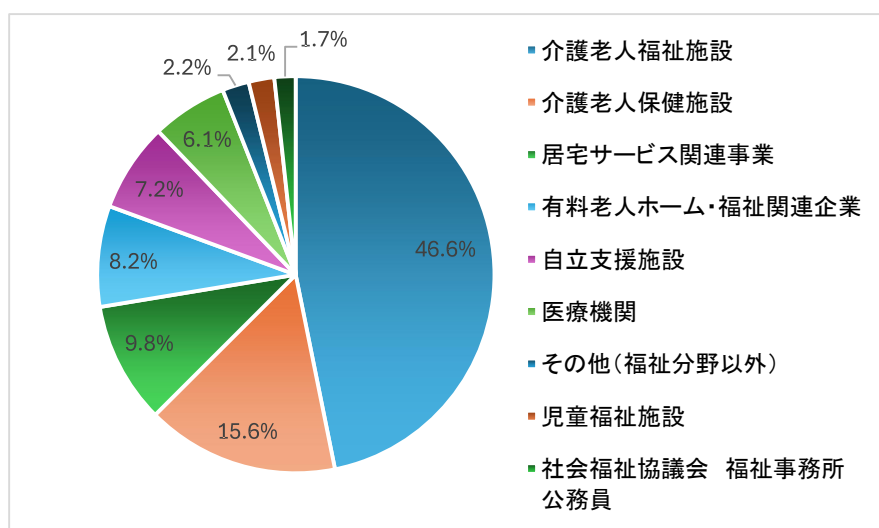
○訓練生の合格率はほぼ 100%で、留学生の合格率は昨年と同様に 5 割前後となりました。

<種別内訳>

	就職人数		うち訓練生数		うち外国人留学生数	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
介護老人福祉施設	2,354	46.6%	88	23.8%	769	45.6%
介護老人保健施設	789	15.6%	28	7.6%	329	19.5%
医療機関	309	6.1%	19	5.1%	157	9.3%
自立支援施設	364	7.2%	75	20.3%	54	3.2%
有料老人ホーム 福祉関連企業	413	8.2%	30	8.1%	205	12.2%
居宅サービス関連事業 (訪問介護・入浴・グループホーム・デイサービスなど)	496	9.8%	98	26.6%	162	9.6%
児童福祉施設	105	2.1%	5	1.4%	1	0.1%
社会福祉協議会 福祉事務所 公務員	87	1.7%	14	3.8%	0	0.0%
保護施設(救護など)	20	0.4%	2	0.5%	2	0.1%
その他(福祉分野以外)	110	2.2%	10	2.7%	6	0.4%
合計	5,047	100%	369	100.0%	1,685	100.0%

○有料老人ホーム等への外国人留学生の就職者は昨年 291 名いたが、今年度は 86 名減少しました。

<全就職人数の種別構成比>



＜居宅サービス関連事業年次推移＞

(毎年 3 月 31 日現在、単位:人)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
就職者数	505	527	504	688	582	496
うち訓練生	137	133	118	143	109	98
全卒業生数に占める割合	9.2%	9.5%	8.7%	11.4%	10.1%	9.5%

○過去 2 年は 1 割を超えたが、今年度は少し減少し 1 割を下回りました。

＜その他の就職先(記載のあったもののみ集計)＞

(単位:人)

一般企業(事務職など)	53
小売(販売など)	13
飲食業	10
公務員・団体など	9
教育関連(幼稚園など)	3
その他	4

＜全就職人数のうち人材派遣会社に登録し就労した者及び人材紹介等の会社を介して就職した者＞

(単位:人、()は全体・訓練生・留学生それぞれ就職した全数に対する割合%)

	全体	うち訓練生	うち留学生
人材派遣会社に登録して就労	4(0.1%)	2(0.5%)	0(0.0%)
人材紹介等の会社を介して就職	53(1.1%)	1(0.3%)	45(2.7%)

○人材紹介等の会社を介して就職する外国人留学生は全体で 11 校 45 名いましたが、そのうち 3 校に 43 名いました。

＜進学内訳＞

(単位:人)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
大学・大学院 (福祉)	82	86	66	59	72	49
大学・大学院 (医療)	1	0	3	1	3	1
大学・大学院 (その他分野)	4	6	4	7	13	6
短大・専門学校(福祉)	6	4	4	7	5	2
短大・専門学校(医療)	10	5	8	9	3	12
短大・専門学校(その他分野)	7	5	7	5	8	6
合 計	110	106	92	88	104	76

○福祉系大学・大学院への進学者は昨年の 72 人(進学者全体の 70.0%)から 49 人(同 64.5%)に減少しました。

＜未就業者＞

(単位:人)

	R3	R4	R5	R6	R7
未就業者数 ()は未就業者数/全卒業生数	139(2.5%)	137(2.4%)	134(2.2%)	113(2.0%)	80(1.5%)
うち訓練生 ()は未就業訓練生数/全訓練生数	13(2.1%)	34(6.0%)	30(5.1%)	22(4.1%)	15(3.9%)

○訓練生のうち、未就業者が10名、福祉分野以外への就職者が10名、進学者が1名おりますので、訓練生の介護職就職率は94.5%であり、昨年に引き続き、増加しています。

○留学生のうち、未就業者が9名、福祉分野以外への就職者が6名、進学者が13名おりますので、留学生の介護職就職率は98.4%であり、昨年とほぼ同数となっています。

＜未就業者の就職希望状況＞

(単位:人、()は昨年実績)

	就職希望あり	就職希望なし	合 計
未就業者数	39(50)	41(63)	80(113)
うち訓練生	10(19)	5(3)	15(22)
うち留学生	3(3)	6(9)	9(12)

○未就業者のうち、就職希望がありながら就職できなかった卒業生の割合は、昨年の44.2%と比べて、48.8%と若干増加しました。

○未就業者のうち、就職を希望しない卒業生の割合は51.3%であり、昨年の55.8%より若干減少しました。

＜就職を希望しない理由(記載のあったもの)＞

(単位:人)

病気療養	10
家事専念(出産・育児などを含む)	9
アルバイトでの就労ほか	8
帰国(外国人留学生)	5
他の学業など専念	4
その他	2

○就職を希望しない理由の記載のあったもののうち、「病気療養」と「家事専念」が、半数を占めています。

○「外国人留学生の帰国」は、昨年度8名から今年度5名と減少しています。

【 自由記述欄 】

＜就職傾向など特徴的事項(記載のあったもの)＞

(単位:件)

就職先種別や就職傾向について	67
実習先・アルバイト先施設への就職	43
就職活動の時期や就労場所に関して	36
外国人留学生に関すること	20
ダブルライセンスに関連して(社会福祉士・保育士など)	12
就職時の条件などについて	11
その他	22

○就職先種別としては、全体に高齢者分野の施設への就職が多いとする記載は 22 件あり、介護老人福祉施設への就職に関する記載は 19 件でした。その他、児童・障害・医療分野に関する記載が 14 件、大規模法人などへの入職が増えているとする記載が 5 件ありました。内定の時期に関する記載は 16 件あり、そのうち 12 件は内定が決まる時期は遅いとの記載でした。

○実習先・アルバイト先への就職が多いとする記載が 43 件あり、特にアルバイト先の施設へ就職に至るケースがあるとする記載が 4 件ありました。

○就職活動に関連しては、自宅から通勤のしやすさや地元での就職先を重視する記載が 20 件ある一方で、県外志向も出てきているという記載が 4 件ありました。

○留学生の就職先は、その多くが奨学金の保証人となった施設だとする記載が 15 件ある一方で、留学生のなかには有料老人ホームを希望する傾向がある。あるいは、県外を希望するのは留学生であるとする記載がありました。

○複数資格取得に関連して、社会福祉士関連 7 件、保育士関連 5 件の記載がありました。

○コロナ禍の影響に関する記載がなくなり、ボランティアが復活してきているとする記載がありました。

－ 以上 －